



『数学的な話し方』が説得力をアップさせる

【図1】 数学的な話し方の「型」

順序	説明
①導入	話題の背景や問題提起を行う相手の関心
②主張	意見や結論を簡潔に、話しの軸を明確に
③解説	主張の根拠や具体例、データで論理的に
④結論	話しをまとめ、相手に印象づける

●上記の型は、数学の論述と同じであるため、いわゆる「MECE(漏れ、だぶり)」がなく、また相手の思考と一致させてから話しをするため、伝わりやすい(説得力がある)

【図2】 5つのスキルで説明上手に

●話すとき悩む箇所として、【図1】のうち、①導入と③解説についてが多い。それを解消することで、話しの質が上がる。質を上げるためのテクニックが、次の5つになる

スキル	説明
定義	使用する言葉や概念を明確に定義する
分解	複雑な内容を細かい要素に分けて説明
比較	類似点や相違点を示す
構造化	情報を整理し、論理的な流れで伝える
モデル化	具体的な事例や比喻を用いる

【図3】 大工と話すときは大工の言葉を使い

●「大工と話すときは大工の言葉を使い」は、経営コンサルタントであるドラッカー先生がコミュニケーションの原理の一端を示した言葉です。コミュニケーションにおいて主人公は、受け手であること。「大工」に伝えるとき「大工」の言葉で話すほうが伝わりやすい。「数学的に話す」とは、受け手を意識した話し方でもあると思います。

●数学とは説明である

深沢真太郎氏の『説明がうまい人はやっている「数学的」話し方トレーニング』は、数学的思考を活用して説得力のある話し方を身につけるための指南書です。

同書によると、「数字で話す」のではなく、「数学的に話す」ことで、相手により説得力をもって伝えることができます。

同じ言語(日本語)を話しているけど、相手に伝わらないと、日頃、思っている方、もっと相手に理解を深めてもらいたいと思っている方にぴったりの一冊であると思います。

●頭のいい人の話し方(型)

著者曰く、頭のいい人の話し方には「型」があると言います。それは「導入→主張→解説→結論」の話し方の型は、聞き手にとってわかりやすく、説得力のある説明をするための基本構造です。まず「導入」で話題の背景や問題提起を行い、相手の関心を引きます。次に「主張」で自分の意見や結論を簡潔に伝え、話の軸を明確にします。「解説」では、その主張の根拠や具体例、データを用いて論理的に説明します。そして最後に「結論」で話をまとめ、相手に印象づけます。この流れを意識することで、話がブレず、相手に「なるほど」と納得してもらいやすくなります。

●数学的思考になるための5つの要素

数学的思考になるために知っておきたい5つの要素があります。まず「定義」です。言葉や概念の意味・範囲を明確にすることで、誤解を防ぎ、議論の出発点を揃える役割を果たします。「分解」は、複雑な事象を要素に分けて整理し、理解しやすくする技術。「比較」は、異なる事柄を並べて違いや共通点を浮き彫りにし、話に深みや納得感を加えます。

そして「構造化」は、情報を論理的に整理し、順序立てて伝えることで、聞き手が内容を追いややすく、「モデル化」は、抽象的な考えを具体例やたとえ話で説明し、直感的な理解を促進します。

事務所日誌

●3月の事務所の活動

- 12日 オンライン早朝読書会「いばら朝喝同好会」参加
- 13日 井原商工会議所「定例相談会」の相談員
- 18日 井原商工会議所「人材育成交流会」理事会参加
- 25日 オンライン読書会「ゆうかつ」に参加
- 26日 オンライン「障害福祉サービス事業所の処遇改善加算取得・申請手続セミナー」の受講

【編集好奇】

▼次男坊が冬休みの2か月間、帰省していました。最初は随分、長いこといるなあ(苦笑)と思っていましたが、資格取得の勉強をしており、夜は事務所も静かだからと、いっしょに過ごす時間が多かったので、帰るときは少し寂しい気分になりました(SS)

当事務所のお仕事ご紹介

「介護の人材確保等補助金申請」

当事務所では、介護や障害福祉の処遇改善加算の支援を行っています。

本年度は新たに人材確保・職場環境改善等事業の実施が予定されています。

この事業の趣旨は、生産性向上により働きやすい職場を創り、それにより職員の定着につなげてもらうことです。

当事務所では補助金申請のみならず、生産性向上に関する研修も行っています。(妹尾悟)

「介護人材確保・職場環境改善等事業」のご案内

Q1. どのような補助金なの？
介護職員等の person 賃（一時金等）改善や職場環境改善（介護助手を募集するための経費、研修費等）の取組を支援します。

Q2. 補助金の額はどのように決められるの？
以下の算定式に基づき各事業所が受け取る補助金の額を算定・支給します。

$$\text{令和6年12月の総報酬} \times \text{交付率} = \text{補助額}$$

※ 12月サービス提供分が前月の比に対して著しく低いなど、事業所の経費で、令和7年1月、2月又は3月サービス給付率を算定する月とすることができます。

(注) 標準的な施設形態の事業所にて、補助対象職員1人あたり5万4千円以内の補助金が各事業所に交付されますが、補助金の額などによって、介護職員の働きやすさ等により5万4千円の人員の増えを行うものではありません。

【使ってみてください！ 仕事で便利なショートカットキー】⑦

「Ctrl+H」 → 「置換」のダイアログボックスが表示され、検索と置換後に文字を入力すると置換ができます。

